



停車駅の統一問題を整理



79.9.25

No. 231

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
 (鉄道)三五八・九(公衆電話)三三二七二〇七

定数欠員補充交渉 — 各支部で現協進む

動労千葉交渉部は、九月二一日、従来からの懸案事項であった「特急・急行・快速列車の停車駅統一」を解決すべく交渉を行った。その結果次の通りの文章を当局に提出させ「停車駅統一」について一定の整理を行った。

「メモ」 停車駅の統一について

特急・急行・快速列車の停車駅統一については従来の交渉経緯を尊重し、次期白紙改正を目途に貴側の要望に添えるよう努力する。

記

1. 特急・急行列車
各線とも統一停車の方向で検討したい。
ただし、内房線については線区の特情からA、B列車の二本立てとして検討したい。
2. 東京快速
現行の停車駅でゆきたい。
ただし、津田沼〜千葉間線増区間については別途協議する。
3. 千葉通勤快速
貴側の要望に添えるよう全体的に見直しをした。
4. 実施時期 五六年度以降としたい。
5. 問題が生じた場合は別途協議する。

千葉鉄道管理局営業部
 旅客課長 針替政己

停車駅統一問題については、運転保安確立の立場から今日まで、団体交渉の場でその解決方を強く申し入れて、成田線、総武本線については、ほぼ停車駅の統一を実施させてきた。しかし外房、内房線に関しては、地元住民要求等を理由にした当局の営業施策優先、運転保安軽視の立場から停車駅の統一の方向が出されていないのが現状であった。

今回の「停車駅の統一について」のメモは、
 第一に、54・10以降次期白紙改正までの間特急・急行・快速列車の停車駅は増さない。
 第二に、千葉通勤快速について「ローカル列車にすべきである」との組合要求を受けとめ次期白紙改正に見直すとの前提にたつたものであり、停車駅統一に一步進んだ内容である。

昭和五四年四月期定数欠員補充交渉をうけて各支部で現協

「交渉ニュース」で既報の通り、昭和五四年四月期定数欠員補充については九月一三日、当局提案をうけ、いま各支部では組合主張による昇格該当者のおしこみをはかるべく現場協議が行われている。五四年四月期定数欠員補充数は次の通りである。

職名	職群	10職	9職	8職	7職
事務掛		4	4	4	5
動力車乗務員		41	45	51	
車両検査長		2			
車両検査係		4	5		
車両検修係					13
運転管理係			1		
運転係		1		4	
構内運転係					4

動労千葉は、各支部の現協報告をうけて改めて①定数の管内一括運用、②高齢者に関しては運用に特別な配慮をすること。を主に当局と交渉を行う予定である。

才二回動労千葉 テニス大会



日時・10月9日(火)
 9時30分集合
 場所・大網駅下車 白子町テニスコート
 (民宿・カメイ荘)

団結運動会日程の変更について

No. 230号でお知らせした「10月28日運動会」の日程を都合により、**11月3日(休)**に変更訂正いたします。